



しらすぎ

目黒区立第八中学校
学校だより NO.13

平成24年(2012)
11月19日(月)

『いじめ防止強化月間』前半の取組

校長 飯野 博史

八中では、今月を「いじめについて考える月間（いじめ防止強化月間）」として様々な取組を行っています。前半の取組について報告します。

5日(月)と12日(月)の朝礼で校長がいじめ問題や今月の取組について話をしました。

2日(金)に目黒区人権擁護委員の飯塚恵美子先生を講師としてお招きし「人権講演会」を開催しました。DVD『見上げた青い空』を1,2年生とE組生徒、保護者(23名)が視聴しました。このDVDは中学校での様々ないじめをドラマ仕立てで再現したもので、陰湿ないじめや自殺について考えさせられるものでした。生徒たちは真剣に見ていました。講師の飯塚先生が「いじめは重大な人権侵害である」ことを分かりやすく話してくださいました。

3年生は同じDVDを5日(月)に視聴しました。全校生徒でDVDを観た感想やいじめについて考えたことをまとめました。いじめについて真剣に考えている感想文がたくさんありましたので紹介します。



◎1年生の感想文

・いじめはやっている側は遊びでも、いじめられている本人はとてつらいと思います。なぜなら親や先生に相談すると、さらにいじめられるからです。そしていじめを見ている人たちは、注意をすると自分がターゲットになるのを恐れているのです。でもそこで勇気を出さなければいじめられている人は助からないのです。そして同時にやり過ぎるとその人の命を奪うこととなります。後悔をするのは自分です。

・私は今日のDVDなどを見て、いじめはこわいなと思った。とくにターゲットがすぐ変わるところがこわいなと思った。いじめられている人に少し話しかけただけで次はその子がターゲットにされてしまうなんてひどいなと思った。そして、助けるのは難しいのだと思った。でもそのことを勇気を出して大人の人に相談することが大切だと思う。これから、クラスでDVDのようなことが起こらなければいいなと思った。

◎2年生の感想文

・ニュースで自殺してしまった中2の男子のことがあってから、今まで何回もこのような講演会でお話を聞いてきました。何度も同じような話を聞いて、何度も「いじめはいけない」と思いました。私はそのなかでもメールやパソコンなど直接本人に言わないいじめが一番怖いと思いました。「メールならばれない」「パソコンならばれないや」という軽い思いが、人の人生を変えてしまい死に追い込んでしまうこともあると思います。「いじめはいけない」と思っている、実際に目の当たりにしたことが

ないので私はあまりよく分かりません。だから、いじめの前にしたらきっと動けないと思います。けれどこのDVDを見て、どんなことが起きても勇気を出していじめを止められるような人になりたいと思いました。

・DVDを見て、いじめをしている人は遊び半分でやっても、いじめられている人は心がすごく傷ついているんだと思いました。私はもし身近にいじめられている人がいたら声をかけてあげたいと思いました。でも実際にそれを行動に移せるかなと不安や心配もあります。それでも勇気を出して声をかけてあげた男の子はすごいな、私もそんな風に声をかけてあげたいなと思いました。そして、いじめは絶対にしてはいけないと改めて感じました。自分が何気なく言った言葉でも、相手にとっては嫌に思うこともあるから、相手の気持ちも考えて行動しようと思いました。

◎3年生の感想文

・僕たちが知らないところでもいじめが起こっていることが分かった。みんないじめを見て自分自身がいじめの的になりたくないから知らん顔をして友達を助けようとしな。それが本当の友達と言えるのだろうか。周りには先生や家族がいる。勇気をふりしぼって話すことも大切ではないのか。僕にもそういう経験がないわけではない。しかし僕は勇気をふりしぼって親に話すことができた。親に相談することで心の支えにもなるし、解決にもつながっていく。だから勇気をふりしぼって周りに相談することはとても大切だと思う。いじめをする方はとても悪いが、それを見て何もしない人もどうかと思う。見ている方も我慢するだけではなく、先生たちに伝える勇気をもってほしいと思った。

・DVDを見て、いじめはとても身近なところで起こっているのかも知れないと思いました。いじめをしている人はただ遊んでいるだけだと思っていて、自分がいじめをしている自覚がないのだと思いました。しかしいじめられる側は自殺を考えるまで追い詰められていました。しかも親や先生には相談できなくて自分一人で抱えこんでしまっているの、周りの人が声をかけたり、一人一人がいじめについて考えたりすることが大切だと思いました。

◎保護者の方の感想文

・DVDの内容はリアルで興味の惹かれやすいものだったと思います。絶対に許してはいけない「いじめ」、みんなにそういう正義感が生まれればよいのですが…。

・どの時代にもいじめはあります。が、最近のいじめは陰湿さが強い傾向、また大人に隠れて上手く行うことができるようになってきていると思います。親として、子と接する短い時間の中で子の変化を感じられるよう、アンテナを張っていきたいと思いますし、子が不安なく話をできるような関係づくりをしなければいけないと痛感しました。

・学校のいじめへの対応の第一歩と受け取らせていただきました。DVD、子どもたちにも理解しやすく、とてもよかったと思います。一時のことではなく、家庭でも色々話し合えたらと考えています。

「いじめ防止強化月間」後半の取組は、「いじめをなくすにはどうしたらよいか」を考えながら一人一人が人権標語を作成します。作成した標語は廊下等に掲示し、それぞれの思いや願いを共有していきます。各学級で話し合いも深めていきます。

28日(水)には「いじめ問題を考えるつどい」を開催します。大岡山小学校児童代表と本校生徒代表が「いじめをなくすにはどうしたらよいか」について話し合いを深めます。保護者の方もぜひ見学にお出でください。本校視聴覚室で2時30分から行います。

「いじめ問題を考えるつどい」の様子を生徒会役員が朝礼で報告します。さらに「いじめ防止強化月間」のまとめとして、生徒会本部役員が「いじめをなくすにはどうしたらよいか」発表する予定です。

※ 人権講演会の感想文は各学年だよりでも紹介しています。